

清友

No. 86

2016年10月

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



旧古河庭園洋館と秋バラ



後楽園前をデモ行進する自治退の隊列

9月27日、地公三単産・地公退高齢者集会在日本教育会館で、翌28日、文京シビック

高齢者集会 反戦争・脱原発 安倍政権の退陣 闘う姿勢を堅持

参加で日本社会はどうなるか
国家主権をめぐる岐路」を

ホールで全国高齢者集会在開催されました。
地公退集会では、西沢地公退会長は挨拶で「増加する貧困高齢層の問題は深刻だ。」と指摘、川端地公退事務局長は「政府の各種審議会は政府の意向を追認するだけの機関になっている。社会保障審議会はその典型だが、我々の意見を反映させるよう努力する。」と活動の焦点と目標を示しました。
続いて、元外務省国際情報局長・孫崎亨氏が「TPP

テーマに記念講演。「安倍は歴代首相で最低。嘘つき。アメリカ世論はTPP反対に傾いているが、安倍は米金融界と軍産複合体の意を受けてTPP推進。TPPの問題点は国家主権がなくなること。ISD（投資家・国家・紛争）条項が問題だ。国家や行政の規制等により企業利益が損なわれた場合、訴訟を起こし国家等から補償金を取れる多国籍企業に有利な制度だ。TPPは『投資家とグローバル株主の夢』と言われている。また、TPPにより日本の誇る国民皆保険が崩壊する。」と、警鐘を鳴らしました。
全国集会では、連合の曖昧なスタンスと異なり、退職者連合は「原発再稼働反対、軍事費優先と社会保障費削減反対、反貧困、憲法改悪阻止、ストップ安倍政治」の姿勢を明確にし、集会后、西神田公園までのデモで沿道に訴えました。

学習交流会



戦後最悪の安倍政権
本質はファシズム
政権打倒を掲げ闘おう

9月9日、「日本政治の現状と参議院選後の課題」をテーマに、清掃会館で学習交流会を開きました。講師は平和フォーラム共同代表藤本泰成さん。安倍政治の問題点やこれからの闘いへ向けた課題等について、熱を込めて語っていただきました。参加者は24名。学習会後の懇親会も盛り、有意義な学習会になりました。



藤本講師

義・近代思想を否定、国家主義へ向かうものだ。安倍は国民に「いのちを懸ける」と言う。政治は国民の命を守ることが基本。安倍は政治の基

安倍政権の本質

電通が自民党のPRを請負い、耳障りの言いフレーズをまき散らしているが、実質賃金は自民党政権後、7%も下がっている。

GDPは世界3位なのに、子供の貧困率は17%。西側の経済協力機構OECD加盟国中、下から4番目。子供の貧困率が高いのは社会保障制度が不十分だからだ。

「父も祖父もできなかった憲法改正をやりたい」と、憲法改正に突き進んでいる。安倍政権の閣僚は日本会議だらけ。

批判を許さない政治

一方、マスコミは正しい報道をしていない。圧力で辛口のキャスターが次々と降ろさされている。政治は批判がなくなれば民主主義ではなくなる。

反知性主義の政治感覚

安倍のやっていることは反知性主義。ファシズムだ。安倍は歴史修正主義だ。東京裁判を受入れて講和条約を結んだ歴史を否定している。

参議院選挙と改憲

自民党改憲草案は、個人主

原発再稼働は論外

川内原発の基本振動値は620ガル。宮城内陸地震の振動は3千ガル、しかも、未知の断層だった。伊方原発は地震の巣・中央構造線上にある。危険でないわけがない。原発再稼働阻止は喫緊の課題だ。

今年も親睦旅行中止

11月に予定していた親睦旅行は、参加者が最低目標に達する可能性がないため、残念ですが、中止にします。

楽しみにされていた方には、お詫びのしようもありません。2年連続の中止を深刻に受け止め、参加希望が少ない原因の究明を含めて、今後どうするか検討することにします。

「歩こう会」

11月のウォーキングは 武蔵国分寺跡とお鷹の道

「歩こう会」9月は鎌倉の静かな穴場「扇ガ谷と源氏山周遊」の予定でしたが、当日の9月13日は朝から雨。足元のこととも考慮し、中止しました。

「雨の鎌倉散歩もいいかな」とダメもとで出かけた方から、鎌倉はほとんど傘いらず、かえって観光客も少なく、静かな鎌倉を楽しめたとの報告。次回は、11月14日、「武蔵国分寺跡とお鷹の道」の予定です。西国分寺駅から概ね5km約1時間半程度のコースです。

昭和運輸不当解雇撤回闘争(6)

自治労組合員宮川さんの志を受け継いで闘おう

昭和運輸不当解雇撤回闘争支援共闘会議

議長 宮本 恒雄

昭和運輸により13年3月25日に不当解雇され、3年6月にわたり「不当解雇撤回・職場復帰」に向けて闘ってきた3名のリーダー格自治労組合員の宮川巧さん29歳が、今年9月7日に突然のバイク事故で逝去されました。謹んで哀悼の意を表するものです。

宮川さんは、「不当解雇を撤回させ職場へ復帰」を何よりも熱望していました。その希望を実現する直前で亡くなったことは、痛恨の極みです。

宮川さんのすばらしいところは、まず行動する人だったことです。

宮川さんが中心となり13年12月9日に厚生年金保険者資格を申請し、15年7月8日付で宮川さんら不当解雇者3名に資格が確定されました。そ

れが土台となって、16年1月1日付で、昭和で働く労働者43名に資格が確定し、さらに、正社員と同じトラック健保に入るようになりました。宮川さんの行動力が出発点となり、これらの成果をあげる事ができたといえます。

その後、今年8月24日付で墨田職業安定所の所長から昭和運輸の社長に対して、この間の実態調査をふまえた結果として「日雇雇用保険から一般雇用保険へ切り替える『依頼文書』」が出され、さらに『指導文書』で9月26日を期限とする通告がなされました。

しかし、昭和運輸は「派遣会社クレイブに切り替えるので『日雇から一般への切り替えは必要なし』」という姿勢を打出して対抗しています。



この会社の姿勢は労働者派遣法違反です。40条の9で、「派遣先会社に、その会社を離職して一年以内の労働者の派遣受け入れを禁止」しています。また、35条の5で労働者派遣の禁止条項として、「派遣元会社に、40条の9に抵触するときは、労働者派遣を行ってはならない」としています。

こうした違法行為は、最終的には派遣事業の取り消しも含む重大なことにつながるだけに、会社側の姿勢が問われています。

裁判もいよいよ大詰めを迎えています。支援共闘会議は、昭和運輸の違法行為を許さず、宮川さんの志を受け継ぎ、「昭和運輸不当解雇撤回闘争」の勝利にむけて断固闘いぬくものです。

第2回幹事会

9月9日に開催し、①当日午後行った学習交流会と懇親会の役割分担、②秋の親睦旅行実施

細目、③秋のフィールドワーク(10月6日実施予定の上野公園ミニツアー)の実施細目、④新春の集い実施日、⑤10周年記念事業等を検討しました。

新春の集い17

1月21日に、例年同様小石川後楽園涵徳亭で開催することにしました。カレンダーにチェックしておいてください。

10周年記念事業

10周年記念事業の検討を始めた。手始めに、上部団体(都労連、自治労東京、都庁職対応の退職者組織)と各単会の記念事業実施内容を調査し、検討委員会としてイメージを共有してから、実施時期・内容の検討を始めることにしました。アイディアを寄せてください。



東京清掃第86回定期大会

組織強化が重点課題

第86回定期大会

東京清掃労働組合



念だ。美濃部都政で清掃事業は大転換した。今も大転換の時期だ。是非頑張ってほしい。」と激励しました。

桐田委員長は大会開催にあたり、「質の高い公共サービスとしての清掃事業確立へ向け、地域・市民との連携・連帯が重要。自治研運動をさらに強化したい。参

9月25日、東京清掃第86回定期大会が連合会館で開かれました。

来賓挨拶で丹野副会長は、「公共サービスとしての清掃事業の質的向上には直営化が不可欠。阪神淡路大震災を契機に、直営の重要性が再認識された。熊本被災支援に東京23区が対応できなかつたのは極めて残

院選の結果、改憲勢力が3分の2になったが、福島、沖縄では現職閣僚を破った。政治闘争を一層強化したい。重点課題は組織強化だ。」と闘いの方向性を明らかにしました。

大会の主な議論は、①犠牲者救済資金と職場オルグ体制のあり方、②人権闘争の推進、③清掃一組の異動基準対処方法、④青年部活動強化でした。

組合員の減少が続く、実質的な委託化が拡大するなど、東京清掃を取り巻く環境は厳しいものがあります。現役世代の一層の奮闘を期待します。

戦争法強行採決一周年



闘いはここから



許さない! 原発再稼働

福島原発事故から5年半。9月22日、「さようなら原発・さようなら戦争大集会」が代々木公園で開催され、朝からの激しい雨にも関わらず1万人近くが結集、退職者会も8人参加しました。

集会前日の21日に「高速増殖炉もんじゅの廃炉」が決まりましたが、政府はもんじゅ12兆円の無駄遣いを反省していません。福島では避難指示解除による住宅支援の打ち切りに直面しています。フクシマを風化させず、原発再稼働を止めるために闘い続ける決意を固めた集会でした。

強行採決の日からまる1年。9月19日の戦争法廃止!国会正門前行動に2万3千人、雨の中、退職者会は10人参加しました。

集会には、民進党岡田代表、共産党志位委員長、社民党福島副党首、野党共闘で当選した岩手の木戸口議員(生活の党)が参加し、「引続き野党共闘を進め、市民との連携の力で安倍政権を打倒しよう」などと訴えました。

市民の力で安倍政権の暴走を止めることを再確認した集会でした。また、全国400カ所以上でも集会やデモが行われました。